

公園平面図 CAD 製図・レイヤ規定 (案) について

公園平面図の世代管理 (測量、設計、施工) 及び保管を適切に行うために CAD データの作図方法、レイヤ形式等について独自の運用を定めています。

(適用範囲)

原則として測量・設計業務の成果平面図、工事の発注平面図・完成平面図、管理図 (公園管理用の竣工平面図)

(概要)

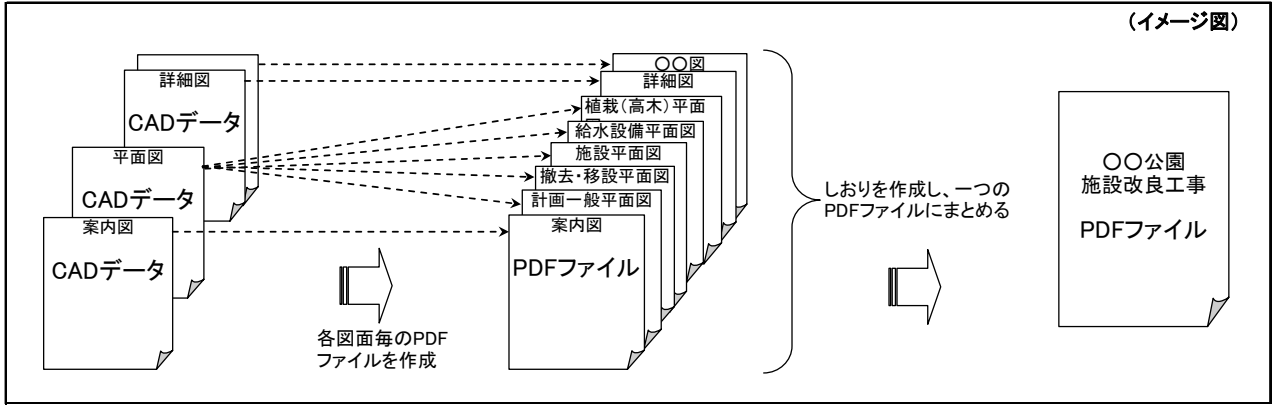
- ・ CADデータファイルのフォーマット
SFC形式 (SXF ver. 2.0 レベル 2)
- ・ レイヤ名称とレイヤに含むデータ内容
「公園平面図用レイヤ規定」(一部)

レイヤNo	レイヤ名	レイヤに含むデータ内容
101	設計 図枠・基本情報	図面輪郭(外枠)及び表題欄枠及び工事名・公園名称・所在地番・縮尺・図面番号・発注者方位記号、スケール目盛(棒スケール)、図枠外側白背景
102	設計 撤去・移設施設	撤去・移設対象施設【公園現況施設レイヤから移動し、移設施設は移設前の位置で表示する、ただし、撤去・移設対象となる地下埋設物については本レイヤではなく設計 撤去・移設注釈に移動す
103	設計 伐採・移植	伐採・移植対象樹木【各植栽レイヤから移動し、移設樹木は移植前の位置で表示する】
104	設計 割付	割付平面図用図面名『割付平面図』、図面番号、割付平面図に関する関連文字情報、引出線等
105	設計 公園施設	新規及び移設施設のうち地上物件(排水施設、給水・電気設備の地上物件を含む。)(移設施設は移設後の位置で表示する)
106	設計 造成	図面名・図面番号、計画高さ、勾配数値、勾配方向等
107	設計 植栽(高木)	新植・移植高木【移植樹木は移植後の位置で表示する】
108	設計 植栽(中木)	新植・移植中木【移植樹木は移植後の位置で表示する】
109	設計 植栽(低木)	新植・移植低木【移植樹木は移植後の位置で表示する】
110	設計 植栽(地被)	新植・移植地被【移植樹木は移植後の位置で表示する】
111	設計 地下埋設物(給水)	図面名・図面番号、給水管路、管種・管径等給水設備地下埋設物及びバルブ種別等給水設備地上物件に関する文字情報・引出し線、数量表等【地下埋設物(給水)レイヤのうち設計図に表示する必要があるデータは、本レイヤに移動する】
112	設計 地下埋設物(排水)	図面名・図面番号、排水管路、管種・管径・管底等排水設備地下埋設物及び柵種別等排水設備地上物件に関する文字情報・引出し線、数量表等【地下埋設物(排水)レイヤのうち設計図に表示する必要があるデータは、本レイヤに移動する】

- ・ 各平面図別レイヤの表示・非表示設定
「公園平面図・図面別レイヤ表示設定」(一部)

種別	レイヤNo	レイヤ名	図面名													
			設計図(発注図または完成図)													
			計画一般平面図	現況平面図	撤去・移設平面図	伐採・移植平面図	割付平面図	造成平面図	施設平面図	給水設備平面図	排水設備平面図	電気設備平面図	植栽(高木)平面図	植栽(中木)平面図	植栽(低木)平面図	植栽(地被)平面図
設計図 (発注図または完成図)	100	設計 不要データ														
	101	設計 図枠・基本情報	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	102	設計 撤去・移設施設		○	○	○										
	103	設計 伐採・移植		○		○										
	104	設計 割付					○									
	105	設計 公園施設	○				○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	106	設計 造成						○								
	107	設計 植栽(高木)	○											○		
	108	設計 植栽(中木)	○											○		
	109	設計 植栽(低木)	○												○	
	110	設計 植栽(地被)	○													○
	111	設計 地下埋設物(給水)									○					
	112	設計 地下埋設物(排水)										○				
	113	設計 地下埋設物(電気)											○			
	114	設計 計画注釈	○													
	115	設計 撤去・移設注釈			○											
	116	設計 伐採・移植注釈				○										
	117	設計 施設注釈							○							
	118	設計 植栽注釈(高木)												○		
	119	設計 植栽注釈(中木)												○		
	120	設計 植栽注釈(低木)													○	
	121	設計 植栽注釈(地被)														○
	122	設計 タイトル(成果)														
	123	設計 タイトル(現況)		○												
124~	設計 その他(***)															

・CADファイル（SFC形式）と共に納品するファイル等
（PDFファイル）



(エクセルファイル)

【発注図】「図面別レイヤ表示設定」XLSデータ

(イメージ図)

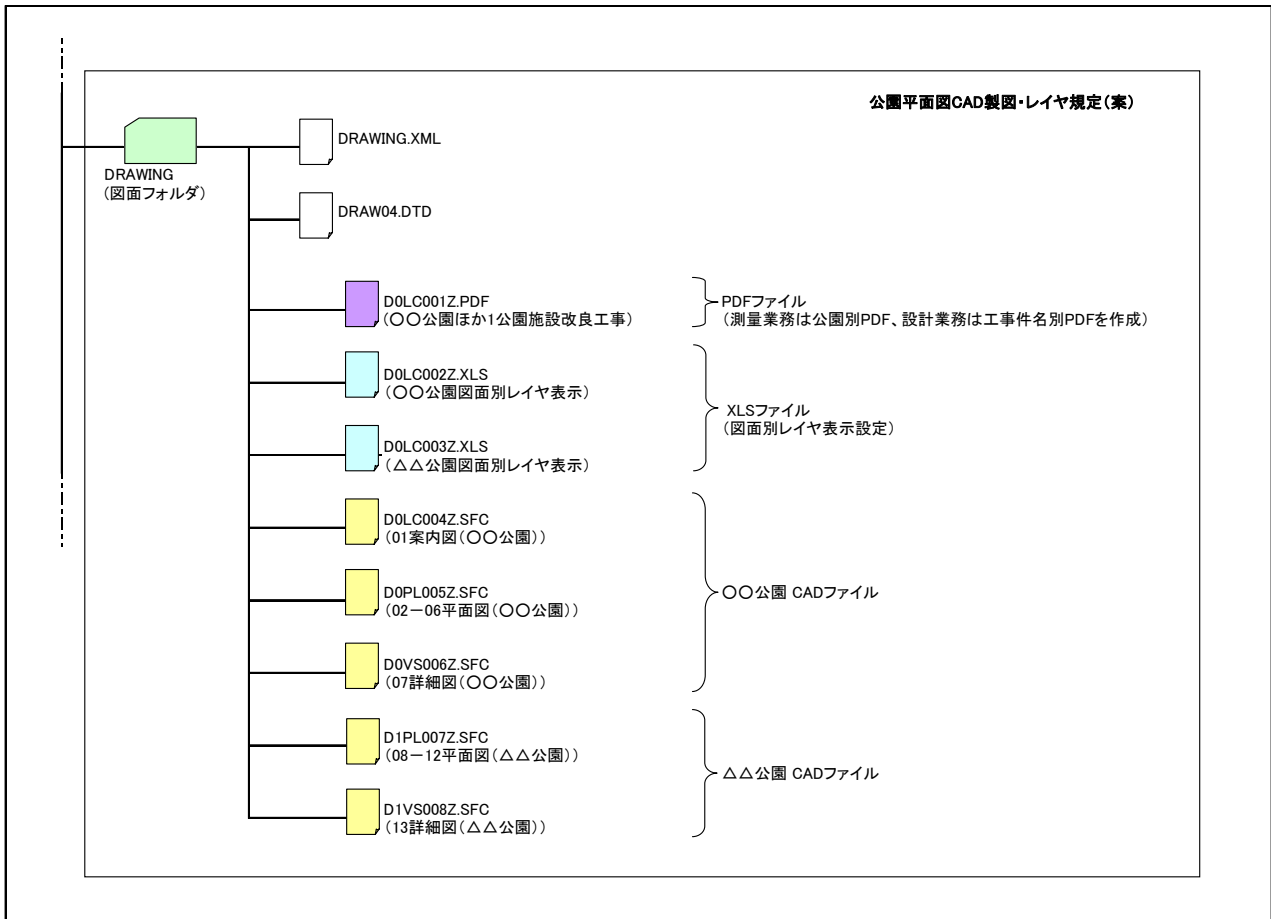
種別	レイヤNo	レイヤ名	管理図 一般 平面図	図面名								設計図(発注図または完成図)					
				計画一般 平面図	現況施設 平面図	撤去・移設 平面図	伐採・移植 平面図	割付 平面図	造成 平面図	施設 平面図	植栽(中木) 平面図	植栽(低木) 平面図	植栽(地被) 平面図				
設計図 (発注図または完成図)	100	設計 不要データ															
	101	設計 図枠・基本情報															
	102	設計 撤去・移設施設															
	103	設計 伐採															
	104	設計 割付															
	105	設計 公園施設															
	106	設計 造成															
	107	設計 植栽(高木)															
	108	設計 植栽(中木)															
	109	設計 植栽(低木)															
	110	設計 植栽(地被)															
	111	設計 地下埋設物(給水)															
	112	設計 地下埋設物(排水)															
113	設計 地下埋設物(電気)																
114	設計 計画注釈																
115	設計 撤去・移設注釈																
116	設計 施設注釈																
117	設計 植栽注釈(高木)																
118	設計 植栽注釈(中木)																
119	設計 植栽注釈(低木)																
120	設計 植栽注釈(地被)																
121	設計 タイトル(成果)																
122	設計 タイトル(現況)																
123	設計 その他(***)																

【完成図】「図面別レイヤ表示設定」XLSデータ

種別	レイヤNo	レイヤ名	管理図 一般 平面図	図面名								設計図(発注図または完成図)				
				計画一般 平面図	現況施設 平面図	撤去・移設 平面図	伐採・移植 平面図	割付 平面図	造成 平面図	施設 平面図	植栽(中木) 平面図	植栽(低木) 平面図	植栽(地被) 平面図			
設計図 (発注図または完成図)	100	設計 不要データ														
	101	設計 図枠・基本情報														
	102	設計 撤去・移設施設														
	103	設計 伐採														
	104	設計 割付														
	105	設計 公園施設														
	106	設計 造成														
	107	設計 植栽(高木)														
	108	設計 植栽(中木)														
	109	設計 植栽(低木)														
	110	設計 植栽(地被)														
	111	設計 地下埋設物(給水)														
	112	設計 地下埋設物(排水)														
113	設計 地下埋設物(電気)															
114	設計 計画注釈															
115	設計 撤去・移設注釈															
116	設計 施設注釈															
117	設計 植栽注釈(高木)															
118	設計 植栽注釈(中木)															
119	設計 植栽注釈(低木)															
120	設計 植栽注釈(地被)															
121	設計 タイトル(成果)															
122	設計 タイトル(現況)															
123	設計 その他(***)															
124	施工 その他(***)															

- ・CADデータに修正を加えた場合は修正したレイヤの「○」印→「●」に変更する。
- ・CADデータに新しいレイヤを追加する場合は、レイヤ名、データ内容、線色等について関係者間で協議、決定し追加記載する。

・ 図面に関する成果品のフォルダ構成 (例：測量業務、設計業務)



レイヤ規定(案)について

レイヤ規定(案)について

- これまで・・・
公園平面図のレイヤ名及び各レイヤに表現する内容が統一されていなかった

レイヤ規定(案)について

- 課題
 - 図面表現に必要なデータと補助線等の作業用データ等が混在していた場合、作図者以外の者では、図面表現に必要なレイヤと不要なレイヤがレイヤ名だけでは判別できないことがある
 - 現況測量で得られた情報(データ)の一部が設計図や施工図の図面表現に必要でないために削除されてしまい、竣工図では公園管理に必要な情報の一部が失われた状態となっている
(ex. 上物のみの整備を行った公園の竣工図面において地下埋設物関係の情報が全て失われている)

⇒ 公園平面図のためのレイヤ規定が必要

レイヤ規定(案)について

- 公園平面図ファイルの基本的な考え方
 - 公園管理に必要な平面図(一般図、施設平面図、地下埋設物平面図、植栽平面図)の情報全てを一つのCADデータファイル内で保持し、レイヤの表示・非表示により各種平面図を表現する
(図面表現の容易性よりもデータ更新の容易性を重視)
 - 現況図の情報は工事の設計図や施工図の図面表現に不要なものであっても、原則としてファイルからデータを削除せずに保持したままとし、工事竣工時にデータ整理を行い、その後の公園管理に必要な図面を作成できるようにする

レイヤ規定(案)について

- 工事の設計・施工過程における
平面図ファイルの種類と関連業務
 - 管理図(現況図): 現況測量業務
 - ↓
 - 設計図(発注図): 実施設計業務業務
 - ↓
 - 施工図(変更図): 工事請負業務
 - ↓
 - 管理図(竣工図): 工事請負業務
(又は図面データ作成業務)

レイヤ規定(案)について

- 平面図ファイルが保持するレイヤ
 - 各平面図ファイルの種類によって保持するレイヤ数が異なる(公園平面図用レイヤ規定参照)
 - 管理図(竣工図)及び管理図(現況図)
公園管理に必要な平面図を表現するために必要なレイヤ:
『管理図(現況図・竣工図)』レイヤ群(最大26レイヤ)
 - 設計図(発注図)及び施工図(変更図)
上記レイヤに加えて、工事の設計・施工に必要な平面図を表現するために必要なレイヤ:
『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群

レイヤ規定(案)について

- 平面図ファイル作成時の留意点1
 - 設計図(発注図)
 - ポイント1
工事名の入力や管理図(現況図)とは用紙サイズを変更して作図する場合等に対応するため、管理図(現況図)とは別に図枠や表題欄、棒スケール等を作成する
 - ポイント2
新規施設・植栽及び注釈等はレイヤ規定に則り、各レイヤに作図

レイヤ規定(案)について

- 平面図ファイル作成時の留意点1
 - 設計図(発注図)
 - ポイント3
既存施設・植栽等については工事内容に応じてレイヤ移動が必要なものがある

レイヤ規定(案)について

- 設計図(発注図)
 - ポイント3-1
 - 工事施工対象物
 - 『管理図(現況図・竣工図)』レイヤ群
⇒『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群
 - * 撤去・移設対象施設:
「公園現況施設」レイヤ⇒「設計_撤去・移設施設」レイヤ
 - * 伐採・移植対象樹木:
「植栽(※)」レイヤ⇒「設計_伐採・移植」レイヤ
 - * 既存地下埋設物のうち工事関連埋設物(設計図に表示する必要がある埋設物):
「地下埋設物(※)」レイヤ⇒「設計_地下埋設物(※)」レイヤ

■ 『公園平面図CAD・レイヤ規定(案)』レイヤ移動のイメージ

管理図(測量図) 段階のレイヤ	設計図(発注図) 段階のレイヤ	「撤去・移設平面図」	「施設平面図」
「公園現況施設」	「公園現況施設」	○	○
	「設計_撤去・移設施設」	○	—
	「設計_公園施設」	—	○
「施設注釈」	「設計_撤去・移設注釈」	○	—
	「設計_施設注釈」	—	○

レイヤ規定(案)について

- 設計図(発注図)
 - ポイント3-2
 - 存置対象物及び不要情報
工事においては存置するが竣工後は機能しない施設及び工事施工に伴い無効(不要)となる情報(埋めこってしまう埋設管や造成に伴い無効となる標高データ等)
各レイヤ⇒「設計_不要データ」レイヤ

レイヤ規定(案)について

- 平面図ファイル作成時の留意点2
 - 管理図(竣工図)
 - ポイント
『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群のデータのうち管理図として必要なデータを『管理図(現況図・竣工図)』レイヤ群に移動した後、『設計図(発注図又は完成図)』レイヤ群のデータを全て削除する

SFCファイル作成時の 留意点

SFCファイル作成時の留意点等

- ポイント
 - SFCファイル作成後は必ずそのファイルを表示させ正しく表示されることを確認すること
 - CADソフト固有の便利な機能はなるべく利用しないこと
 - AutocADからの変換では文字フォントが代替フォントとなったり文字の幅と高さの比率が1:1以外となることがある
 - 参考資料
 - SXF 変換を意識したCAD 製図
(<http://park3.wakwak.com/~harusu/SXF/SXFmanyu.aru.pdf>)
- *****

工事完成図書の電子納品に関する特記仕様書

平成19年 7月 1日 制定

平成22年12月 3日 改正

追加

1 工事完成図書の電子納品の対象工事は下表のとおりとする。電子納品とは、調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子データで納品することをいう。ここでいう電子データとは、工事完成図書の電子納品要領（案）（以下、「要領^{注1}」という）に示されたファイルフォーマットに基づいて作成されたものを指す。

2 工事完成図書は、「要領」に基づいて作成した電子データを電子媒体（CD-R等）で正副各1部提出する。「要領」で特に記載のない項目については、原則として電子データを提出する義務はないが、「要領」の解釈に疑義がある場合は監督員と協議のうえ、電子化の是非を決定する。

なお、電子納品の事前協議・運用にあたっては、「電子納品運用ガイドライン（案）」（以下、「ガイドライン^{注1}」という。）及び「電子納品運用手順書（案）」（以下、「手順書^{注1}」という。）を参考にするものとする。ただし、横浜市が設計図のCADデータを別に定める「公園平面図CAD製図・レイヤ規定（案）」（以下、「規定（案）^{注3}」という）に基づく形式で提供した場合は、規定（案）についても参考にするものとする。

追加

3 電子納品の対象及び作成方法等

電子納品の対象	対象資料	作成方法等
工事請負金額 1,000 万円以上 ただし、管内一円工事は除く。	ガイドラインによる。	要領、手順書及び規定（案）による。

※ガイドライン、要領及び手順書等は原則として最新版を適用する

追加

追加

- (1) 電子納品の対象以外の工事でも監督員との事前協議により電子納品の対象工事とする事ができる。この場合は本特記仕様書を適用する。
- (2) 電子納品の対象資料及び作成方法等は、上表を原則とする。ただし、これによりがたい場合は、監督員と協議して決めることができる。
- (3) 電子納品の対象資料の範囲については、監督員と事前協議により決定する。
- (4) 電子納品で使用するファイル形式は要領によることを原則とする。ただし、監督員と協議して将来確認できる形式とすることができる。

4 工事完成図書の提出の際には、電子納品チェックシステム^{注2}によるチェックを行い、エラーがないことを確認した後、ウィルス対策を実施したうえで提出すること。

注1) 「要領」、「ガイドライン」及び「手順書」は、横浜市都市整備局の下記ホー

ムページを参照する。

<http://www.city.yokohama.jp/me/toshi/kokyo/cals/yokohamadensi.html>

注2)「電子納品チェックシステム」は、国土交通省のホームページよりダウンロードして使用する。

追加

http://www.cals-ed.go.jp/index_dl.htm

注3)「公園平面図CAD製図・レイヤ規定(案)」は横浜市環境創造局(公園緑地工事関連)の下記ホームページを参照する。

<http://www.city.yokohama.jp/me/kankyoku/kouji/shiryoku/kouen/download.htm>

1

竣工関係資料の提出に関する特記仕様書

平成 21 年 8 月 28 日 制定

平成 22 年 12 月 3 日 訂正

修正

1 他の仕様書等に定めるもののほか、工事完成時に次の竣工関係資料を~~CD-R~~CD
又はDVDに保存し、1部を監督員に提出すること。

(1) 工事概要及び施設一覧

横浜市が提供するエクセルファイルに入力すること。

ファイル名は、「工事名＋工事概要及び施設一覧」【例：〇〇公園整備工事その1 工事概要及び施設一覧】とする。

工事概要及び施設一覧に入力する項目は以下のとおりとする。

・工事概要

工事名、公園緑地名、施工業者、工事金額、整備区域名（分割整備の場合）
契約年月日、着手年月日、竣工年月日

・施設一覧

施設区分（公園緑地工事工種体系ツリー図に準じる）、施設名、
仕様・規格、数量、単位、メーカー名、対象年齢（遊戯施設）、
備考（その他特記すべきものがある場合）

なお、メーカー名は以下の施設について入力する。

園路広場、修景施設、遊戯施設、サービス施設、管理施設、建築施設
グラウンド・コート舗装、グラウンド・コート施設、自然観察施設
照明灯

(2) 竣工平面図（施設平面図、地下埋設物平面図）

横浜市が設計図面の CAD データを提供した場合は、竣工平面図を CAD データ
（SFC 又は DXF 形式）及び PDF データで提出すること。

なお、CAD データについては施設平面図と地下埋設物平面図がレイヤの表示
切り替えで表現できる場合はファイル名を「工事名＋竣工図」【例：〇〇公園
整備工事その1 竣工図】とし、表示できない場合はファイル名を「工事名＋竣工
図（図面種別）」【例：〇〇公園整備工事その1 竣工図（施設平面図）】とし
て二つのファイルを提出すること。

(3) 全景写真

面的整備を行った公園は、整備後の全景写真を画像サイズを 640×480 ピク
セル、ファイルサイズを 80KB 程度に変換した画像データ（JPEG 形式）で提出
すること。ファイル名は「公園緑地名＋全景」【例：〇〇公園全景】とし、写
真が複数になる場合は後ろに 1[半角数字]から連番を追加すること。

新規

竣工関係資料の提出に関する特記仕様書（公園レイヤ版）

平成 22 年 12 月 3 日 制定

1 他の仕様書等に定めるもののほか、工事完成時に次の竣工関係資料を CD 又は DVD に保存し、1 部を監督員に提出すること。

(1) 工事概要及び施設一覧

横浜市が提供するエクセルファイルに入力すること。

ファイル名は、「工事名＋工事概要及び施設一覧」【例：〇〇公園整備工事その 1 工事概要及び施設一覧】とする。

工事概要及び施設一覧に入力する項目は以下のとおりとする。

・工事概要

工事名、公園緑地名、施工業者、工事金額、整備区域名（分割整備の場合）
契約年月日、着手年月日、竣工年月日

・施設一覧

施設区分（公園緑地工事工種体系ツリー図に準じる）、施設名、
仕様・規格、数量、単位、メーカー名、対象年齢（遊戯施設）、
備考（その他特記すべきものがある場合）

なお、メーカー名は以下の施設について入力する。

園路広場、修景施設、遊戯施設、サービス施設、管理施設、建築施設
グラウンド・コート舗装、グラウンド・コート施設、自然観察施設
照明灯

公園レイヤ版

(2) 竣工平面図（管理図）（一般平面図、施設平面図、地下埋設物平面図、植栽平面図）

竣工後のデータを竣工平面図（管理図）として、公園平面図 CAD 製図・レイヤ規定（案）に基づきデータ整理を行い、CAD データ（SFC 形式）及び PDF データで提出すること。

なお、CAD データ（SFC 形式）については一般平面図、施設平面図、地下埋設物平面図、植栽（高木、中低木、地被）平面図がレイヤの表示切り替えで表現できるものとし、ファイル名は「工事名＋竣工図」【例：〇〇公園整備工事その 1 竣工図】とする。

PDF データについては CAD データをもとに一般平面図、施設平面図、地下埋設物平面図、植栽平面図を作成し、これらを記載順に結合して一つの PDF ファイルを作成する。PDF データのファイル名は「公園名＋平面図」【例：〇〇公園平面図】とする。

(3) 全景写真

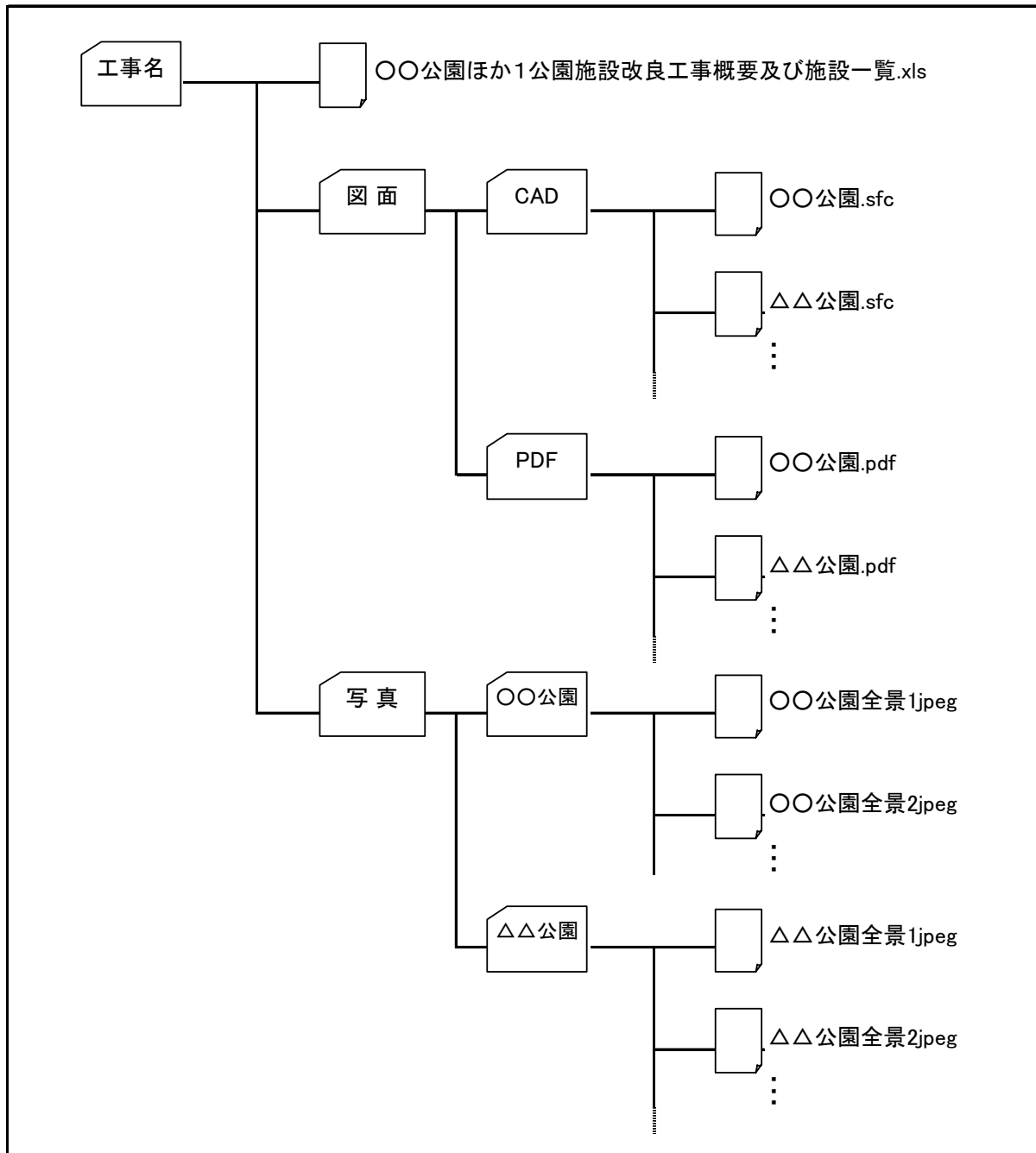
面的整備を行った公園は、整備後の全景写真を画像サイズを 640×480 ピクセル、ファイルサイズを 80KB 程度に変換した画像データ（JPEG 形式）で提出すること。

公園レイヤ版

ファイル名は「公園緑地名+全景」【例：〇〇公園全景】とし、写真が複数になる場合は後ろに 1[半角数字]から連番を追加すること。

(4) 提出データのフォルダ構成

以下のとおりとする。



平成 22 年 12 月 1 日
公園緑地管理課

公園改修工事データ登録用ファイル利用上の留意点

公園緑地工事では「竣工関係資料の提出に関する特記仕様書」（平成 21 年 8 月 28 日制定）及び「竣工関係資料の提出に関する特記仕様書（公園レイヤ版）」（平成 22 年 11 月 3 日制定）により、工事の竣工時に工事概要や施設一覧等の竣工関係資料の提出を義務付けています。

このうち、施設改良工事や再整備工事等、既存公園の工事については、工事概要及び施設一覧の作成を「公園改修工事データ登録用ファイル」を用いて行うこととなりますが、作成にあたっては以下の点に留意して下さるようお願いいたします。

1 入力時のマクロ機能について

公園改修工事データ登録用ファイルは「施設 ID」、「設置年度」、「整備内容」欄の自動入力を行うためにマクロ機能を使用しています。

そのため、データ入力の際にはマクロ機能を有効にした状態で行うようにしてください。マクロ機能を有効にする方法は以下を参照してください

<http://excel07.blog114.fc2.com/blog-category-21.html>

2 改修対象となる既存登録施設のデータの事前入力

公園施設 DB に登録されている施設を改修（再塗装、撤去等）する場合は、必ず「施設一覧」シートで【施設データ取得】を実行し、施設のデータを一覧に書き込み、改修内容を入力した状態で請負人にファイルを渡すようにしてください。（請負人の方は既存登録施設のデータを取得する方法を知りません。）

施設一覧(改修工専用)

施設 ID	公園名	仕様・規模

施設データ取得 | メニュー画面

施設データ取得
施設データ取得で入力 | 複合遊具は選択
構成要素も入力

施設データ
(既存施設のデータ) | 施設データ取得で入力

ここをクリック

施設データ選択画面

所管部署: 緑土木事務所 | 区名: 緑区

公園名: 青砥第二公園 | 施設区分:

対象: 全選択

施設名	規格・仕様	数量
ベンチ	FB-F12、座板4枚	6台
水飲み	MN-A	1台
コンクリート縁石	KE-B	35.2m
コンクリート平板舗装	500×500	22m ²
アスファルト舗装	DH	298m ²
車止め	KU-AK	1台
車止め	KU-AS	2台

連続した複数の行を一括選択する場合は、
最初の行を選択⇒Shiftボタンを押しながら最後の行を選択
連続していない行を複数選択したい場合は、
最初の行を選択⇒Ctrlボタンを押しながら以降の行を選択

ここをクリック | 実行 | キャンセル

改修対象施設のデータが施設一覧に書き込まれます。

施設一覧(改修工事用)							
	施設データ取得			メニュー画面			
施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	メーカー名
K09660019	青砥第二公園	サービス施設	ベンチ	PB-F12、座板4枚	6	基	
K09660021	青砥第二公園	サービス施設	水飲み	MN-A	1	基	
K09660022	青砥第二公園	管理施設	車止め	KU-AK	1	基	
K09660023	青砥第二公園	管理施設	車止め	KU-AS	2	基	

整備（改修）内容を入力します。

施設一覧(改修工事用)							
	施設データ取得			メニュー画面			
施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	施設履歴
施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	整備内容
K09660019	青砥第二公園	サービス施設	ベンチ	PB-F12、座板4枚	6	基	座板交換・脚部再塗装
K09660021	青砥第二公園	サービス施設	水飲み	MN-A	1	基	新規設置 撤去 再塗装 ネジ・ボルトナット増し締め 欠損ネジ・ボルトナット取 入替交換 グルマ交換 チェーン交換
K09660022	青砥第二公園	管理施設	車止め	KU-AK	1	基	
K09660023	青砥第二公園	管理施設	車止め	KU-AS	2	基	

3 既存登録施設の一部を撤去した場合の入力方法

公園施設 DBに登録されている施設について、同種の複数施設がひとつのデータとして登録されており（例：ベンチ/TB-B12/6 基）、そのうちの一部について撤去した場合や柵等の延長物の一部を撤去した場合、「整備内容」欄に『撤去』を入力してしまうと全体が撤去されたこととなってしまいます。

一部を撤去した場合は「数量」欄の値を撤去後の数量に修正したうえ、「整備内容」欄に『○m撤去（北側入口～東側入口区間）』、『△基撤去（広場南側）』というように撤去した数量と該当か所がわかる情報を入力してください。

施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	施設履歴
施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	整備内容
K10290022	富岡町東公園	サービス施設	ベンチ	TB-B12	3	基	3基再塗装、3基撤去(広場南側)

① 施設データを取得し、
数量を6から3に変更



② 整備(改修)
内容を入力



また、柵等、延長物の一部を改修した場合（再塗装等）も同様の方法で入力してください。

施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	施設履歴
施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	整備内容
K10290029	富岡町東公園	管理施設	縦格子柵	TF-120SS	119.5	m	うち96.3m再塗装 (北側入口～東側入口区間)

4 既存登録施設に改修を加えた場合の入力方法

公園施設 DB に登録されている施設に改修を加えた場合は、『1 改修対象となる既存登録施設のデータの事前入力』の方法により改修内容を入力してください。

設計書で「座板交換工/4 基」という表示がされている項目をそのまま新規に施設一覧に入力してしまうと「座板交換工」が新たな施設として公園施設 DB に登録されてしまいます。

施設 ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	整備内容	
T10290041	富岡町東公園	サービス施設	座板交換工	TB-F12	4	基	新規設置	←NG!!
K10290023	富岡町東公園	サービス施設	ベンチ	TB-F12	4	基	座板交換・脚部再塗装	

施設データを取得し、整備(改修)内容を入力

5 施設 ID について

「施設一覧」シートの「施設 ID」欄には、公園施設 DB に登録されている施設については『K*****』という『K』から始まる値が、新規に公園施設 DB に登録する施設については『T*****』という『T』から始まる値が入力されている必要があります。したがって、通常の場合、「施設 ID」欄に『T』から始まる値が入力されている施設は新規に設置した施設、つまり「整備内容」欄に『新規設置』が入力されている施設となります。

施設 ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	整備内容	
K10290029	富岡町東公園	管理施設	縦格子柵	TF-120SS	119.5	m	うち96.3m再塗装 (北側入口～東側入口区間)	
T10290044	富岡町東公園	管理施設	縦格子柵		96.3	m	再塗装	←NG!!

NG!! : 施設 ID は『T』から始まっているが、
整備内容は『新規設置』以外となっている

6 既存施設であるが公園施設 DB には新たに登録する施設の入力方法

「施設一覧」シートの「公園名」、「施設区分」、「施設名」欄に入力を行うと、新規に設置した施設として、「設置年度」欄には工事年度が、「整備内容」欄には『新規設置』が自動的に入力されるようになっていきます。

したがって、既存施設ではあるが、これまで公園施設 DB への登録が行われておらず、今回の工事での改修を機に公園施設 DB へ登録を行うという場合には、自動的に入力された「設置年度」、「整備内容」欄の内容を正しい内容に修正する必要があります。

施設 ID	施設データ (既存施設のデータは『施設データ取得』で入力)			複合遊具は遊具の構成要素も入力			施設履歴	
	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	設置年	整備内容
T10290050	富岡町東公園	サービス施設	テーブル				H21	新規設置

① 公園名～施設名を入力

施設 ID	施設データ (既存施設のデータは『施設データ取得』で入力)			複合遊具は遊具の構成要素も入力			施設履歴	
	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	設置年	整備内容
T10290050	富岡町東公園	サービス施設	テーブル				H15	再塗装

② 設置年度、整備内容を入力

7 工事完成図書用のデータ等、既存エクセルデータを活用した入力方法

工事完成図書用の既存エクセルデータを利用すると「施設一覧」シートの内容を一括して入力することができます。

ただそ、その場合、既存データの内容を「施設一覧」シートに入力する内容と合致するよう修正を加えると共に、既存データの列の並びを「施設一覧」シートにあわせてうえで「公園名」を全ての行に必ず入力しておく必要があります。

既存データを活用した入力方法の手順は以下のとおりです。

Step1：既存データの名称を施設名に変更する

エクセルの置換機能【編集⇒置換】を利用して内訳数量表の名称から『工』を取り除き、施設名に変更します。

工事完成図書用の内訳数量表

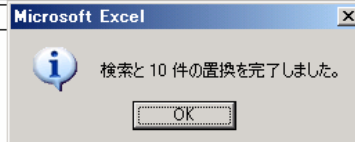
工種	名称	規格	単位	設計数量	変更数量	実施数量	差引
ベンチ・テーブル工	ベンチ工	TB-BF	基	2		2	0
	ベンチ工	TB-BH	基	3		3	0
水飲み工	水飲み工	MN-B	基	1		1	0
サイン工	制札板工	SE	基	1		1	0
	園名石工		基	1		1	0
	サイン工		基	0	1	1	0
	掲示板工	AK-L	基	0	1	1	0
柵・門扉工	パイプ柵工	PF-1S	m	7	10.5	10.5	0
	手すり工		か所	2		2	0
	車止め工	固定式	基	4		4	0
	車止め工	可動式	基	3		3	0

工種	名称	規格	単位	設計数量	変更数量	実施数量	差引
ベンチ・テーブル工	ベンチ工	TB-BF	基	2		2	0
	ベンチ工	TB-BH	基	3		3	0
水飲み工	水飲み工	MN-B	基	1		1	0
	サイン工	制札板	SE	1		1	0
柵・門扉工	園名石工		基	1		1	0
	サイン工		基	0	1	1	0
	揭示板工	AK-L	基	0	1	1	0
	パイプ柵工	PF-1S	m	7	10.5	10.5	0
	手すり工		か所	2		2	0
	車止め工	固定式	基	4		4	0
	車止め工	可動式	基	3		3	0

置換実行

工種	名称	規格	単位	設計数量	変更数量	実施数量	差引
ベンチ・テーブル工	ベンチ	TB-BF	基	2		2	0
	ベンチ	TB-BH	基	3		3	0
水飲み工	水飲み	MN-B	基	1		1	0
	サイン工	制札板	SE	1		1	0
柵・門扉工	園名石		基	1		1	0
	サイン		基	0	1	1	0
	揭示板	AK-L	基	0	1	1	0
	パイプ柵	PF-1S	m	7	10.5	10.5	0
	手すり		か所	2		2	0
	車止め	固定式	基	4		4	0
	車止め	可動式	基	3		3	0

名称がから「工」が取り除かれた状態



Step2: 「施設一覧」シートに列の並びを合わせる

既存データの列の並びを「施設一覧」シートと合致するよう合わせます。

工種	名称	規格	単位	設計数量	変更数量	実施数量	差引
ベンチ・テーブル工	ベンチ	TB-BF	基	2		2	0
	ベンチ	TB-BH	基	3		3	0
水飲み工	水飲み	MN-B	基	1		1	0
	サイン工	制札板	SE	1		1	0
園名石			1		1	0	
サイン			0	1	1	0	
柵・門扉工	揭示板	AK-L	基	0	1	1	0
	パイプ柵	PF-1S	m	7	10.5	10.5	0
	手すり		か所	2		2	0
	車止め	固定式	基	4		4	0
	車止め	可動式	基	3		3	0

公園名	施設区分	名称	規格	実施数量	単位	メーカー	設計数量	変更数量	差引
	ベンチ・テーブル工	ベンチ	TB-BF	2	基		2		0
		ベンチ	TB-BH	3	基		3		0
	水飲み工	水飲み	MN-B	1	基		1		0
		サイン工	制札板	SE	1	基		1	
	園名石			1	基		1		0
	サイン			1	基		0	1	0
	柵・門扉工	揭示板	AK-L	1	基		0	1	0
		パイプ柵	PF-1S	10.5	m		7	10.5	0
		手すり		2	か所		2		0
		車止め	固定式	4	基		4		0
		車止め	可動式	3	基		3		0

Step3 : 既存データのシートに必要な内容を追加する

列を並び替えた既存データのシートに公園名、施設区分、メーカー等の内容を追加します。(公園名は必ず入力してください)

各施設の施設区分は「施設一覧」シート横の「施設名テーブル」シートを参照してください。

公園名	施設区分	名称	規格	実施数量	単位	メーカー	設計数量	変更数量	差引
神奈川台場公園	サービス施設	ベンチ	TB-BF	2	基	舟岡景観施設(有)	2		0
神奈川台場公園	サービス施設	ベンチ	TB-BH	3	基	舟岡景観施設(有)	3		0
神奈川台場公園	サービス施設	水飲み	MN-B	1	基	(株)サカエ	1		0
神奈川台場公園	サービス施設	制札板	SE	1	基	ミツホリエステル(株)	1		0
神奈川台場公園	管理施設	園名石		1	基	(株)阿曾石材	1		0
神奈川台場公園	サービス施設	サイン		1	基	(株)オカベプレコン	0	1	0
神奈川台場公園	サービス施設	掲示板	AK-L	1	基	(有)ホワイトスペース	0	1	0
神奈川台場公園	柵・門扉工	パイプ柵	PF-1S	10.5	m	舟岡景観施設(有)	7	10.5	0
神奈川台場公園	管理施設	手すり		2	か所	舟岡景観施設(有)	2		0
神奈川台場公園	管理施設	車止め	固定式	4	基	(株)サンエス	4		0
神奈川台場公園	管理施設	車止め	可動式	3	基	(株)サンエス	3		0

Step4 : 既存データの内容を「施設一覧」シートにコピー&ペーストする

既存データの内容(「公園名」～「メーカー」)をコピーします

公園名	施設区分	名称	規格	実施数量	単位	メーカー	設計数量	変更数量	差引
神奈川台場公園	サービス施設	ベンチ	TB-BF	2	基	舟岡景観施設(有)	2		0
神奈川台場公園	サービス施設	ベンチ	TB-BH	3	基	舟岡景観施設(有)	3		0
神奈川台場公園	サービス施設	水飲み	MN-B	1	基	(株)サカエ	1		0
神奈川台場公園	サービス施設	制札板	SE	1	基	ミツホリエステル(株)	1		0
神奈川台場公園	管理施設	園名石		1	基	(株)阿曾石材	1		0
神奈川台場公園	管理施設	サイン		1	基	(株)オカベプレコン	0	1	0
神奈川台場公園	管理施設	掲示板	AK-L	1	基	(有)ホワイトスペース	0	1	0
神奈川台場公園	柵・門扉工	パイプ柵	PF-1S	10.5	m	舟岡景観施設(有)	7	10.5	0
神奈川台場公園	柵・門扉工	手すり		2	か所	舟岡景観施設(有)	2		0
神奈川台場公園	柵・門扉工	車止め	固定式	4	基	(株)サンエス	4		0
神奈川台場公園	柵・門扉工	車止め	可動式	3	基	(株)サンエス	3		0



「施設一覧」シートの最上部の空白行の「公園名」セルを選択します。
コピーした内容を値として貼り付けます。【編集⇒形式を選択して貼り付け⇒値にチェック⇒OK】

施設一覧(改修工事用)

39

施設データ取得 メニュー画面

施設データ (既存施設のデータは施設データ取得で入力) 複合遊具は遊具の複合遊具も入力 関連データ保存フォルダ

施設ID	公園名	施設区分	施設名	設置年度	写真ファイル名	図面ファイル名
K21290005	神奈川台場公園	基盤	石			
K21290005	神奈川台場公園	電気設備	引			
K21290005	神奈川台場公園	電気設備	灯			
K21290006	神奈川台場公園	排水設備	雨			

形式を選択して貼り付け

貼り付け

- すべて(A)
- 数式(E)
- 値(V)
- 書式(F)
- コメント(C)
- 入力規則(N)
- 罫線を除くすべて(O)
- 列幅(W)
- 数式と数値の書式(R)
- 値と数値の書式(U)

演算

- しない(Q)
- 加算(D)
- 減算(S)
- 乗算(M)
- 除算(D)

空白セルを無視する(B) 行列を入れ替える(E)

リンク貼り付け(L) OK キャンセル

値として貼り付け



マクロがきちんと有効になっていれば、データを貼り付けた直後に設置年度と整備内容が自動的に入力されます。

設置年度には「工事概要」シートに入力した竣工年月日から算出した年度が、整備内容には『新規設置』が入力されます。

施設一覧(改修工用)

施設データ (既存施設のデータは『施設データ取得』で入力)		複合道具は道具の 構成要素も入力					関連データ 保存フォルダ			施設履歴		
施設ID	公園名	施設区分	施設名	仕様・規格	数量	単位	メーカー名	設置年度	写真ファイル名	図面ファイル名	備考	整備内容
K21290001	神奈川台場公園	基礎	石積ウォール	白御影石割肌	47	m					20.1m	撤去
K21290005	神奈川台場公園	電気設備	引込柱・分電盤	コンクリート、BT-AT	1	基						再塗装
K21290009	神奈川台場公園	電気設備	灯具	H537、【HL-A200】	2	基						再塗装
K21290006	神奈川台場公園	排水設備	雨水溝	RM-60	2	基						撤去
T21290040	神奈川台場公園	サービス施設	ベンチ	TB-BF	2	基	舟岡景観施設(有)	H21				新規設置
T21290041	神奈川台場公園	サービス施設	ベンチ	TB-BH	3	基	舟岡景観施設(有)	H21				新規設置
T21290042	神奈川台場公園	サービス施設	水飲み	MN-B	1	基	(株)サカエ	H21				新規設置
T21290043	神奈川台場公園	サービス施設	制札板	SE	1	基	ミツホリエステル(株)	H21				新規設置
T21290044	神奈川台場公園	管理施設	園名石		1	基	(株)阿曾石材	H21				新規設置
T21290045	神奈川台場公園	サービス施設	サイン		1	基	(株)オカベプレコン	H21				新規設置
T21290046	神奈川台場公園	サービス施設	掲示板	AK-L	1	基	(有)ホワイトスペース	H21				新規設置
T21290047	神奈川台場公園	柵・門扉工	パイプ柵	PF-1S	10.5	m	舟岡景観施設(有)	H21				新規設置
T21290048	神奈川台場公園	管理施設	手すり		2	か所	舟岡景観施設(有)	H21				新規設置
T21290049	神奈川台場公園	管理施設	車止め	固定式	4	基	(株)サンエス	H21				新規設置
T21290050	神奈川台場公園	管理施設	車止め	可動式	3	基	(株)サンエス	H21				新規設置

新規整備施設の場合は、「公園名」～「メーカー名」、「設置年度」、「整備内容」が入力されていれば入力は完了です。